

確かな基礎

聖書的な信仰こそが土台

テッド・N・C・ウィルソン

(世界総会総理)

再臨運動は、聖書に書かれている預言の摂理を理解し、再臨に備えようとする人々によって始まりました。19世紀半ば、神はウイリアム・ミラーという、かつて懐疑論者であった説教者を立ち上げらせ、ヨハネの黙示録14章7節にある第一天使のメッセージを宣べ伝えさせられました。何千もの人々がこのメッセージを受け入れ、再臨が差し迫っていることを信じました。しかし、すべての人がこのメッセージを受け入れたわけではありませんでした。偽りのキリスト教会がそれを拒絶したのです。そのことについては、第二天使のメッセージ(8節)に見ることができます。

1844年10月22日、イエスが再臨されることはなく、期待していた多くの人々が再臨運動を離れました。しかし、聖書をもっと学んで深く理解しようと心に決めた数人は残りしました。祈りとともに学ぶうちに、

ダニエル書8章14節の2300日の預言の終わりは、キリストが地上に來られるのではなく、天の聖所におけるキリストの働きが新しい段階に入ったのだということが分かりました。心を開いて祈りのうちに学び続けることで、第七日安息日を聖く保つことの重要性を含む三天使のメッセージの完全な意味や、靈魂の消滅や死後の状態、キリストの再臨など、ほかにさまざまな聖書の教えが明らかになっていきました。

このような集中的な学びの時期について、エレン・G・ホワイトは次のように書いています。「わが教会の人々の多くは、われわれの信仰の基礎がどんなに強固に置かれたかを自覚していない。わたしの主人、ジョセフ・ベーツ長老、……ステーブ・ピアス……(ハイラム)・エドソン長老、そしてその他の人々は、明敏、高貴、誠実な人々で、一八四四年の時が過ぎ去ったあと

で、隠れた宝のように真理を探究した人々の中に属していた。わたしは、彼らと会った。われわれは、研究し、熱心に祈った。われわれはよく夜遅くまで集まり、時には光を祈り求めて、聖書を研究しながら、徹夜することもあった。これらの兄弟たちは、何度も何度も、聖書を研究するために集まった。それは彼らが、その意味を理解して、力強く教えることができる用意をするためであった」

「主要な教理」

大失望から10年近く経過し、数人しかいなかった残りの民は、約10000人に増えていました。そして、まだ正式な教会名はありませんでしたが、『アドベント・レビュー』・アンド・サバス・ヘラルド』という機関紙を持っていました。1854年8月15日号の一面には、5つの「レビュー誌が

教える主要な教理」として簡潔に教理が掲載されています。

「聖書のみが信仰と義務の基準である」

「旧約聖書と新約聖書で教えられている神の律法は不変である」

「千年期の前に、キリストは目に見える形で再臨され、義人は復活させられる」

「地球はエデンの完全さと栄光を取り戻し、最終的には聖徒の相続地となる」

「不死はキリストを通してのみ、復活の際に聖徒に与えられる」²⁾

1863年、第七日安息日の重要性と再臨を待ち望むという2つの重要な信仰を反映する「セブンスデー・アドベンチスト」として、正式に教会を組織しました。

信仰の公式な声明

教会初の正式な信仰の声明は、『セブンスデー・アドベンチスト』によって説かれ、実践される基本原則の宣言』と題して1872年に公表されました。この文書には、聖書の学びから導き出された25の要点が列挙されており、冒頭は次のように始まっています。「われわれの信仰の概要を公に紹介するにあたり、われわれには聖書以外に信仰簡条、信条、規律などがないことが明確に理解されることを望む」とし、「(セブ

ンスデー・アドベンチストが)一致して信じている、また信じてきたことを簡潔に述べたものである」と説明しています。

この基本原則の宣言は、1874年6月4日に『サインズ・オブ・ザ・タイムズ』誌の創刊号で再び公表されました。この声明は、1875年に再出版されるとともに、1889年にも脚注を加えて出版されています。

次に私たちの信仰の声明が更新されたのは、42年後のことでした。これまでのいくつかの項目が組み合わされて22項目となり、「信仰の概要」と改名され、1931年の『セブンスデー・アドベンチスト年鑑』と1932年の『教会指針』に掲載されました。その後、数年の間に、文体の変更や細かな改訂など、さらなる改訂が行われました。1980年までに「信仰の概要」は27項目となり、1980年にダラスで開かれた世界総会本会議で採択されました。

信仰の概要は動的

これらの「信仰の概要」は動的なものであり、教会が聖霊によって導かれ、聖書の真理をより深く理解するようになれば、項目が追加されることがあります。新しい「信仰の概要」の必要を感じた代議員たち

は、2005年にセントルイスで開かれた世界総会本会議で、「キリストにある成長」という声明を決議し、これを「信仰の概要」に加えて合計28項目としました。現在も28項目ですが、2015年にサンアントニオで開かれた世界総会本会議で文言の修正が行われた結果、現在の形になっています。

神がどなたであり、私たちが何者であり、私たちに對する神のすばらしいご計画がどのようなものであるかを、聖書の啓示のとおり、より完全に理解できるようにこの運動を導いてくださった神に感謝します。セブンスデー・アドベンチスト教会には、決まった信条はありませんし、これまでもありませんでした。その代わりに、私たちが聖書から教えられていると信じていることを表した28の「信仰の概要」を掲げています。生けるみ言葉であるキリストは、聖書を通して今日も語りかけておられます。あなたがみ言葉を学び続け、長い時間をかけて検証された聖書の真理を守り続け、キリストの再臨が間近に迫っていることを宣べ伝えるとき、神の祝福がありますように。

1 「初代文集」 26頁

2 Advent Review and Sabbath Herald (Aug. 15, 1854), 1.

3 "A Declaration of the Fundamental Principles Taught and Practiced by the Seventh-day Adventists" (Seventh-day Adventist Pub. Assn. 1872), 3.